

## ハーバライフの歩み

ハーバライフは、36年もの間、素晴らしい栄養補助食品とウエイト・マネージメント製品を提供することにより、世界中の人々の生活を変え、副収入を得るためのビジネスの機会を提供してきました。世界94カ国以上に広がるたくさんのハーバライフ・メンバーのネットワークを通じ、ただ販売するだけでなく、お客様一人ひとりのニーズを満たす栄養を提供し、健康で活動的な毎日を過ごせるようサポートしています。

2017	リチャード・P・グッデイス、ハーバライフ・インターナショナル社最高経営責任者（CEO）に就任。 また、グッデイスのCEOへの就任に伴い、マイケル・O・ジョンソンはエグゼクティブ・チェアマンとして新しい役割を担う（6月）
2016	ハーバライフ・オブ・ジャパンはジェイ・ボスロイド選手（サッカー）、吉村樹希敢選手（BMXレース）をオフィシャル・ニュートリション・スポンサーとして、相川真侑花選手（テニス）をオフィシャル・ニュートリション・サポーターとして応援
2014	世界90カ国以上でのビジネス展開に拡大 消費者保護を目的とした基準「ゴールド・スタンダード」を発表
2013	ハーバライフ スキン製品がアメリカ、プエルトリコ、カナダで発売開始 子供たちの食栄養環境をサポートするCASA HERBALIFE（カーサ・ハーバライフ）が新たに12カ所でスタート
2012	世界80カ国以上でのビジネス展開に拡大（1月） ハーバライフ24製品がメキシコ、ブラジル、ヨーロッパで発売開始
2011	世界75カ国でのビジネス展開に拡大（10月） ハーバライフ24製品がアメリカで発売開始
2010	世界73カ国でのビジネス展開に拡大（5月） ハーバライフ創立30周年

2009	<p>ハーバライフ・インターナショナル社、イタリアセリエA「インテル」社とオフィシャル・ニュートリション サプライヤー契約（2月）</p> <p>世界72カ国でのビジネス展開に拡大（11月）</p>
2008	<p>世界66カ国で展開（8月現在）</p> <p>ハーバライフが世界各国で支援するアスリート5名が北京オリンピックに出場（8月）</p> <p>日本からはトランポリンの廣田遥選手が出場</p> <p>世界70カ国でのビジネス展開に拡大（11月）</p>
2007	<p>ハーバライフ・オブ・ジャパン、「東レ パン・パシフィック・テニス」オフィシャル・スポンサーとして3年目を迎える（2月）</p> <p>ハーバライフ・インターナショナル社、米国メジャーリーグ・サッカー「ロサンゼルス・ギャラクシー」と5年間のスポンサー契約（3月）</p> <p>世界65カ国でビジネスを展開（7月）</p> <p>大阪にショールームをオープン（9月）</p> <p>トランポリン廣田遥選手に対するサポートを開始</p> <p>ハーバライフ・オブ・ジャパン、15周年を迎える（11月）</p> <p>2007年通期の純売上20億ドルを達成</p>
2006	<p>「フォーブス」日本版で6ページにわたる「ハーバライフ特集」（1月）</p> <p>バレーボール国内トップ・リーグ・Vリーグのファイナル・ラウンドにマーケティング・パートナーとして協賛（3月）</p> <p>毎日新聞に広告掲載（4月）</p> <p>ハーバライフ・オブ・ジャパン、オフィスを赤坂に移転（5月）</p> <p>日本で2番目、世界で21番目のCASA HERBALIFE プログラム支援が東京の「カリタスの園 小百合の寮」でスタート（12月）</p>

2005	<p>ハーバライフ・オブ・ジャパン、アジア最大の女子テニス公式戦「東レ パン・パシフィック・テニス」にオフィシャル・スポンサーとして協賛（2月）</p> <p>ハーバライフ・オブ・ジャパン、神田から赤坂に本社オフィスを移転（5月）また、体験型ショールーム「ハーバライフ・ニュートリションセンター」を開設（7月）</p> <p>日本医学顧問委員会を設立（5月）</p> <p>新スキン・ケアシリーズ「ニューリフュージョン」を日本でも発売</p> <p>ノーベル賞＋受賞者でサイエンティフィック・アドバイザリー・ボード（SAB）メンバーである、ルイス・イグナロ博士と共同開発したサプリメント「ナイトワークス®」を日本でも発売（8月）。主要製品フォーミュラ1 プロテインドリンク ミックスに次ぐヒット製品になる ＋ノーベル財団は、ハーバライフとの提携関係にはありません。従って、当該財団はハーバライフ®製品の監修、承認、推奨はしません。</p> <p>ハーバライフ創立25周年。ハーバライフの純売上が16億ドルに</p> <p>ハーバライフ・インターナショナル社のマイケル・O・ジョンソン（CEO）、米ダウ・ジョーンズグループの大手金融情報サイト"Market Watch.Com社"が行なっている、「読者が選ぶ年間CEO賞」に選出</p> <p>子供たちの食栄養環境をサポートするCASA HERBALIFE（カーサ・ハーバライフ）プログラムが日本でもスタート。神戸市の「神戸事業学院」に（12月）</p>
2004	ハーバライフ・インターナショナル社、ニューヨーク証券取引所（NYSE）に上場（12月）
2003	<p>マイケル・O・ジョンソン、ハーバライフ・インターナショナル社最高経営責任者（CEO）に就任</p> <p>米国本社で、ニュートリション・アドバイザリー・ボード（NAB）を設立</p> <p>カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）内にマーク・ヒューズ細胞・分子栄養学研究所を開設</p>
2000	ハーバライフ創立20周年。世界50カ国で展開
1994	世界中のサポートを必要としている子どもたちに、よりよい未来を与えるために、ハーバライフ・ファミリー・ファンデーション（HFF）を設立
1992	ハーバライフ・オブ・ジャパン開業
1980	マーク・ヒューズ、米国カリフォルニア州でハーバライフ社を創立